



令和元年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

②里山再生事業

## 森林環境保全基金事業実施箇所調書

		実施年度	R1年度	
事業名	里山再生事業		事業主体	中央森林組合
箇所名	甲府市善光寺町		事業内容	除伐
事業概要	樹種	広葉樹	事業の 必要性	当箇所は、灌木類や形質不良木等が多い不健全な森林であった。 このため、本事業により除伐・集積を行うことにより、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	56年生		
	実施面積	9.00 ha		
	作業道延長	-		
	事業費	4,667,465 円		
事業の実施状況	【事業実施後の効果】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良木等が除去され、明るく見通しの良い森林になった。</li> <li>・放置されていた倒木が整然と集積され里山林としての景観が良くなった。</li> </ul>			
事業の実施状況	【着工前】			
				
事業の実施状況	【完成】			
				



森林環境保全基金事業実施箇所調書

		実施年度	R1年度	
事業名	里山再生事業		事業主体	中央森林組合
箇所名	笛吹市芦川町上芦川 地内		事業内容	除伐
事業概要	樹種	広葉樹	事業の 必要性	当箇所は、市の観光名所であるスズラン群生地に通じる林道沿いの広葉樹林であるが、つるや灌木が繁茂し風倒木が放置される等、不健全な状態であった。 このため、本事業により除伐・集積を行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	52年生		
	実施面積	6.97 ha		
	作業道延長	-		
	事業費	3,683,357 円		

【事業実施後の効果】

- ・つるや不用木が除去され、明るく風通しの良い森林になった。
- ・放置されていた倒木が整然と集積され、里山林としての景観が良くなった。
- ・視界が開け、山に入りやすくなった。

【着工前】

事業の  
実



【完成】



施  
状  
況





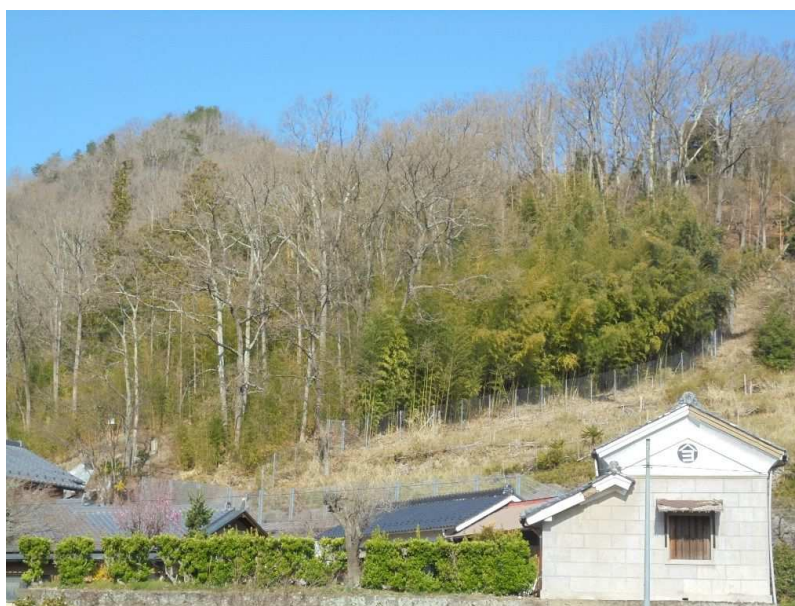
森林環境保全基金事業実施箇所調書

		実施年度	R1年度	
事業名	里山林再生事業		事業主体	峡南森林組合
箇所名	南巨摩郡身延町西嶋地内		事業内容	侵入竹駆除
事業概要	樹種	広葉樹	事業の必要性	当箇所は、西嶋地区に存在する広葉樹林であるが、侵入した竹により森林内が鬱閉し不健全であった。このため、侵入した竹の駆除・集積を本事業により行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	45年生		
	実施面積	0.21 ha		
	作業道延長	—		
	事業費	467,457 円		

【事業実施後の効果】  
 ・侵入竹が除去され、明るく風通しの良い森林になった。  
 ・伐倒した竹が整然と集積され、里山林としての景観が良くなった。

事業の実施状況



【着工前】



【完成】



## 森林環境保全基金事業実施箇所調書



森林環境保全基金事業実施箇所調書			実施年度	R1年度
事業名	里山再生事業		事業主体	大月市森林組合
箇所名	大月市賑岡町強瀬地内		事業内容	除伐
事業概要	樹種	広葉樹	事業の 必要性	当箇所は、集落に近接する広葉樹林であるが、灌木等の繁茂により森林内が鬱閉し、不健全な状態であった。 このため本事業により除伐を行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	43年生		
	実施面積	3.17 ha		
	作業道延長	—		
	事業費	1,030,854 円		
事業の実施状況	【事業実施後の効果】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用木が除去され、明るく風通しの良い森林になった。</li> <li>・視界が開け、山に入りやすくなった。</li> </ul>			
事業の実施状況	【着工前】			
				
事業の実施状況	【完成】			
				

令和元年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

③広葉樹の森づくり推進事業



## 森林環境保全基金事業実施箇所調書

		実施年度	R1年度
事業名	広葉樹の森づくり推進事業		事業主体 峡北森林組合
箇所名	北杜市小淵沢町上笹尾		事業内容 地拵え、植栽
事業概要	樹種	コナラ	事業の 必要性 当箇所は、伐採後、天然更新を図っていたが、広葉樹の稚樹がシカにより食害され、成林する見込みがない状態であった。 このため、本事業において高木性広葉樹の植栽を行い、公益的機能が発揮される安定した森林への移行を図る。(獣害防除はR2年度の予定)
	林齢	1年生	
	実施面積	0.75 ha	
	作業道延長	-	
	事業費	1,013,705 円	
事業の実施状況	【事業実施後の効果】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽木の活着は良好であり、健全な植栽木の成長が期待出来る。</li> <li>・今後数年間は下刈を実施しながら、生育状況の経過観察を行う。</li> </ul>		
事業の実施状況	【着工前】		
			
事業の実施状況	【完成】		
			

森林環境保全基金事業実施箇所調書

		実施年度	R1年度	
事業名	広葉樹の森づくり推進事業		事業主体	南都留森林組合
箇所名	南都留郡西桂町下暮地地内		事業内容	地拵え、植栽、獣害防除、下刈
事業概要	樹種	カエデ	事業の必要性	当箇所は、カヤ類の繁茂が旺盛であり、天然更新による森林への回復が困難な状態であった。このため、本事業により広葉樹植栽を行い、公益的機能が発揮される安定した森林への移行を図る。
	林齢	1年生		
	実施面積	0.85 ha		
	作業道延長	—		
	事業費	4,195,709 円		

【事業実施後の効果】

- ・植栽木の活着は良好であり、獣害防除(単木防護資材)も有効に機能しているため、健全な植栽木の成長が期待できる。
- ・今後数年間は下刈りを実施しながら、生育状況の経過観察を行う。

事業の実施状況

【着工前】



【完成】





令和元年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

④甲斐の木づかい推進事業

## 森林環境保全基金事業実施箇所調書

実施年度

R1年度

事業名	甲斐の木づかい推進事業				
補助対象	社会福祉法人秀愛福祉会 認定こども園こでまり保育園				
事業の目的	山梨県産材を使った机・椅子を導入することで、木のぬくもりを伝える教育環境を整備するとともに、山梨県産材の利用を促進する。				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	こでまり保育園	机・椅子	20	505,000	
事業の実施状況	<p>【導入後の感想】</p> <p>(保育教諭) 木目・素材共に木のぬくもりを感じられる。 明るい色で気分も明るくなる。 傷が付きやすい。 木の風合いが今後どのように変化していくのか楽しみ。</p> <p>(園児) 軽いので運びやすい。 木目が見えるので木への興味が出てきた。</p> <p>【使用状況】</p>				
	  				



## 森林環境保全基金事業実施箇所調書

実施年度

R1年度

事業名	甲斐の木づかい推進事業				
補助対象	韮崎市				
事業の目的	山梨県産材を使った机・椅子を導入することで、木のぬくもりを伝える教育環境を整備するとともに、山梨県産材の利用を促進する。				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	韮崎東中学校	机・椅子	140	2,800,000	
事業の実施状況	<p>【導入後の感想】</p> <p>(教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県産材を使用していることで、郷土学習につながる。</li> <li>以前の机、椅子に比べて軽量で持ち運びしやすい。生徒は3年間同じ机椅子を持ちあがりで使用することになるが、移動時の事故防止にも繋がる。</li> </ul> <p>(生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近に山梨県産材があることで、郷土学習への意欲がわく。</li> <li>木材のもつあたたかみを感じられる。</li> <li>一人ずつ模様が違い、自分の机という愛着がもてる。</li> <li>机表面が広く使用しやすい。</li> </ul>				
	<p>【使用状況】</p> 				

令和元年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

⑤森林体験活動支援事業



## 森林環境保全基金事業実施箇所調査

事業名		助成団体名		実施年度	R1年度
森林体験活動支援事業		南アルプス市立芦安小学校			
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額(円)
	学校林(南アルプス市)	9月27日	自然体験学習	35名	32,502
事業の実施状況	<p>【事業実施による効果】</p> <p>指導者のもと、枝打ちを体験し、林業の歴史や関わる人の暮らしを学んだ。活動をとおり、人の手が入ることで森が守られていることを知り、作業の意義や必要性、環境保全について考えるきっかけとなり、森林の重要性や必要性を学ぶことができた。</p>				
	<p>【活動状況】</p>  				

## 森林環境保全基金事業実施箇所調査

事業名		実施年度	
森林体験活動支援事業		R1年度	
助成団体名		博愛幼稚園	
事業の目的			
子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。			
内容		活動場所	
		富士山5合目（鳴沢村）ほか	
活動日		活動内容	
7月13,14日		自然体験学習	
参加人数		交付金額（円）	
20名		127,820	
【事業実施による効果】			
指導者のもと、富士山5合目では、高山植物やコケ、溶岩等に触れながら自然観察を行い、西湖コウモリ穴では、洞窟の探検、樹海の散策を行った。活動をとおり、子どもたちに自然のおもしろさや不思議さを感じさせることができ、自然に対する興味や関心を養い、森林を守る心を育むことができた。			
【活動状況】			
			
			

事業の実施状況



## 森林環境保全基金事業実施箇所調査

事業名		実施年度				
森林体験活動支援事業		R1年度				
助成団体名		押原こども園				
事業の目的						
子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。						
内容		活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額（円）
		宝の山ふれあいの里 ネイチャーセンター（都 留市）ほか	7月26日 11月21日	自然体験学習	37名	159,349
【事業実施による効果】						
指導者のもと、森林散策や伐採見学、伐採木からの薪づくりを行った。この活動で作った薪は、園で収穫した米を炊くために使用した。活動をとおり、日常生活では体験が難しい森林、林業の様子や、木の役割や使い道など学ぶことができ、自然に対する興味や関心を養い、森林を守る心を育むことができた。						
【活動状況】						
						
						

事業の実施状況